

# 丹南の2校削減 了承

## 県立高再編で地区懇談会

# 県教委、年内正式決定へ

丹南地区の県立高再編について、地元の有識者らから意見を聞く地区懇談会の第3回会合は14日夜、サンドーム福井であった。意見交換は非公開で、県教委によると2020年度に鯖江と丹南、武生商と武生工をそれぞれ統合し、現在の7校から2校減の5校体制とする最終案におおむね了解が得られたという。県教委は今後、県会に説明した上で、年内に県教育委員会を開き再編計画を正式決定したい考え。(石井敬夫)

丹南地区の県立高再編案					
現在			2020年度		
高校	学科	クラス数	高校	学科	クラス数
鯖江	普通	5	鯖江	探究	1
	総合	4		普通	4
丹南	総合	4		普通(スポーツ・福祉)	1
				普通(IT・デザイン)	1
武生商	商業	2	総合産業 (2キャンパス制)	商業マネジメント	2
	情報ビジネス	1		情報ビジネス	2
	情報処理	1		都市・建築	1
武生工	都市・建築	1		電気情報	1
	電気	1		ものづくり	2
	電子機械	1			
	工業化学	1			
武生	普通	8	武生	普通	6
	理数	1		探究	2
武生東	普通	4	武生東	普通	3
	国際	2		国際	2
丹生	普通	5	丹生	普通	5

※2020年度の学科名は仮称、クラス数は生徒の志望動向などで変更する

同計画がまとまれば、現在の中学1年生の入学時から5校体制になる。県立高再編はこれまで奥越、若狭、坂井の各地区で行われたが、2校削減は丹南地区が初めて。来年4月には、統合後の学校の教育方針やカリキュラムを協議する「準備委員会」を鯖江と丹南、武生商と武生工で一つずつ立ち上げる。準備委員会は校長をトップに、教員や県教委で構成する。県教委が示した最終案では、鯖江は丹南を統合し、普通科内にスポーツ・福祉コース(仮称)、IT・デザインコース(同)を設ける。両コースは丹南の実習棟を活用するが、今回「将来的に1キャンパスへの移行を検討する」との文言を盛り込んだ。国公

立大への進学指導を強化する分野への人材育成を強化する。20年度以降も2キャンパス制とし、25年度に1キャンパスにするが場所は未定。このほか武生にも、探究科(同)を設け、難関大学への進学を強化する。この日の議論では委員から「今後の生徒数減に際して学科の枠組みなどを柔軟に対応すべきだ」との意見や、統合する学校間のシャトルバスの運行計画をただす意見などが出たという。